

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和7年

12月 定例会

7名の議員が一般質問を行う…………… P.3~6  
議会委員会活動報告…………… P.8~12  
新議員紹介…………… P.11

令和8年

1月 臨時会

臨時会の審議内容…………… P.6



表紙の写真 ふくいくたる梅の香り

📷 撮影 フォーカス友の会 根岸 清さん

表紙シリーズ 町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

## 議会の傍聴について

第2回定例会は3月

4 日(水) [午前9時～ 一般質問] から

18 日(水) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]  
を予定しています。

感染症等の発生が確認された場合は、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。



# 町政を問う ～ 一般質問 ～

どの質問に興味がありますか？

P.6	P.5	P.5	P.4	P.4	P.4	P.4	P.3	P.3	P.3	P.3	P.3
定住促進対策	効果的な公共交通の整備	小学校の給食費予算	公共交通の利用環境確保	子育て世帯への支援	空き家対策	安心安全に暮らせる町づくり(追跡質問)	オーラルフレイル予防	終活	防犯対策(追跡質問)	令和8年度予算編成と政治姿勢	町政を牽引する町長の公約達成度

## 定例会の概要

令和7年第6回定例会は、12月4日から16日までの13日間の会期で開かれ、町政に対する「一般質問(※1)」の他、町長から提案された令和7年度一般会計及び特別会計の補正予算7件、条例改正9件を審議しました。

また、議員提案の条例及び意見書2件も可決されました。(議案一覧及び審議結果は6ページ以降をご覧ください。)

### 「一般質問」とは(※1)

議員が町の施策、将来展望等の説明を町長などに求め、適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することができます。また、町ホームページの神川町議会からも閲覧できます。



# 一般質問



柴崎 愛子 議員

**Q** 町政を牽引する町長の公約達成度について

**重要施策の達成度と課題分析について**

櫻澤町政が3年10ヶ月を経過し、この間、県内で5本の指に入る程の素晴らしい子育て支援策を実現してきた。これらは、重要施策の一つである人口増加を目的とするものと考ええるが、町長は人口増加の達成度についてどのように考えるか。

また、若者に魅力あるまちづくりについて、移住定住を考へての施策なのか、その達成度をどのように分析し、今後につなげていくのか考へを伺うと同時に、公約にも掲げている企業誘致の方向性を変えることはできないのかあわせて伺う。

**A** 町長答弁

4年目を迎え、この間、人口増加や若者に魅力あるまちづくりのために、特に子育て支援に注力してきた。令和7年10月、子育て支援特設サイトにより情報発信を強化、令和8年度には認定こども園開所に向けた神川幼稚園大規模改修も進めている。達成度については、これまで実施

してきた諸施策は、徐々に効果は出てきていると思っている。人口減少や超少子高齢化、頻発化する自然災害、そして小学校統合、教育充実など、これらの課題を分析し、10年・20年先を見据え、持続可能で明るく住み良い町の実現を目指していく。

**Q** 令和8年予算編成と政治姿勢について

**編成に係る重点について**

12月は次年度予算編成の重要な時期と考えるが、町長の政治姿勢を基に進めようとするまちづくりは、どこに重点を置き編成していくのか伺う。

**A** 町長答弁

次の3点を基本的な考へ方として編成している。1点目は第2次総合計画等の指標達成に向けた計画的な事業遂行を目指す。2点目は目的と手段の明確化と持続可能な財政運営のため、各補助金や有利な地方債の活用等、財源の確保に努めていく。3点目は持続可能なまちづくりの推進となり、子育て支援策充実と神川町に住み続けたい、住んでいて良かったと思ってもらえる定住への環境づくりに注力していく。最終的に子育て、教育環境が充実し、安心安全で暮らしやすく、産業、観光が盛んな地域社会を築き上げ、次の世代へと誇れる持続可能なまちづくりの実現を目指す。



川浦 雅子 議員

**Q** 防犯対策について (追跡質問)

**防犯グッズ購入助成を**

近年、住宅に押入る強盗や留守宅・夜間の窃盗等の被害報道が見受けられる。町民の不安を払拭するための防犯グッズ購入助成について町の考へを伺う。

**A** 町長答弁

町民からの自宅敷地内への不審者侵入防止等を目的とした家庭用防犯対策の要望も承知しており、補助制度の対象や補助率等を研究していく。

**Q** 終活について

**もしもの時を考へる**

終活について町広報紙や人生会議の講演等の取組があるが、町民からはもっと気軽に相続等の問題を相談できる場がほしいとの要望がある。元気なうちに、もしもの時を考へるきっかけづくりの取組について伺う。

**A** 町長答弁

終活とは相続等の人生の最終段階に向けた準備を行うとともに、人生をよりよく生きるための前向きな活動です。町内の相談場所の周知や、きっかけ作りを努めていく。

**Q** オーラルフレイル予防について

**口腔から健康増進へ**

口腔機能低下症は、虫歯や歯周病、口臭原因にもなり、重度の歯周病は心筋梗塞のリスクにも繋がる。また、子どもでは唇を閉じる筋力低下で口唇閉鎖不全症(お口ぽかん)が注目される。町民の健康を守るため予防の取組について町の考へを伺う。



**A** 町長答弁

町では妊娠期や母親学級、乳幼児健診に加え、保育所・幼稚園での予防対策を講じている。また、高齢期の方にはサロンや介護予防教室等での口腔機能低下予防の取組も行い、今後も予防対策を継続していく。



新井 太一 議員

**Q** 安心安全に暮らせる町づくりに(防犯カメラ追加設置)設置体制の見直しを!

少子高齢化と人口減少により地域の見守り体制が希薄化する中、令和6年3月定例会で示された防犯カメラ設置の慎重検討を踏まえ、防犯対策の必要性が高まる現状において、防犯カメラの有効性に対する町の認識、現時点での意向、今後の具体的な設置計画について町の考えを伺う。



**A** 町長答弁

町民から自宅周辺の安全確保を目的とした個人宅向け防犯対策を求める声が寄せられており、町では他自治体の事例を参考に助成制度を研究する。一方、公共空間の防犯カメラは効果とプ

**Q** 空き家対策について

空き家の利活用は!

少子高齢化により空き家が増加し、地域の課題となっている。空き家は放置すれば負担となる一方、利活用により移住・定住や地域活性化につながる資源でもある。神川町の空き家バンクの実績と現状、今後の利活用方針について町の考えを伺う。



**A** 町長答弁

8年間の実績として、神川町の物件登録は延べ6件、マッチングは5件にとどまっております。各種補助制度の利用もなく、町独自の空き家対策が必要と認識しています。今後は実態調査と所有者意識調査を行い、空き家等対策計画を策定し、移住促進につなげていく。



剣持 真菜美 議員

**Q** 子育て世帯への支援について

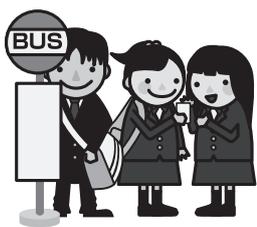
高校生通学費支援について

高校授業料無償化で負担は軽減されたが、高校生の町外通学が必須の神川町では公共交通の通学費が依然重い負担となる。家庭の経済状況で進学先が左右されないよう、高校生通学費補助制度の創設について伺う。

**A** 町長答弁

町は高校生世帯へ医療費助成拡充や給付金、児童手当等による支援を実施してきた。通学費は負担と認識しているが、通学方法や学び方が多様なため公平性に配慮が必要。

国や近隣自治体の状況を注視するとともに、財政状



況や他の施策の優先順位等を考慮し検討していく。

**Q** 公共交通の利用環境確保について

新たな駐輪場を!

丹荘駅入口と青柳小学校前中間に位置する町所有地「神川中学校前バス停」には駐輪場がなく、利用者の選択肢が限られている。公共交通の利便性向上と安全確保のため、同バス停への駐輪場整備の考えを伺う。



**A** 町長答弁

神川中学校前の停留所は平成27年度から28年度にかけて整備されたが、駐輪場は未設置である。路線バスや高校スクールバスが停車し利用者は多いため、まず簡易的な駐輪場を設けてニーズを把握した上で、今後の対応を検討する。





四方田 繁男 議員

Q 定住促進対策について

新たな促進策を！

神川町は都内近郊への通勤・通学圏内という地理的特性を有しているが、社会人や大学生にとって定期代の負担が重いいため、町外での下宿を選ばざるを得ないケースも想定される。定期代の負担軽減は、本町に住み続けながら通うという選択肢を広げる効果が期待できると考える。経済的負担を軽減するため、通勤・通学定期代の一部助成制度の創設が必要と考える。

このような制度は、若者や子育て世帯の定住促進および地域活性化の支援策となり得ると思うが、町の考えを伺う。



A 町長答弁

町では新幹線や在来線で東京都内や埼玉県南部へ通勤・通学している方が多くいる。定期代は、新幹線では本庄早稲田駅から東京駅まで通勤で約月8万1千円、通学で6万1千円程、在来線でも本庄駅から通勤で約月4万1千円、通学で2万1千円程かかる。物価高騰の影響もあり経済的負担となり、就職や進学を機に転出する要因とも考えられる。地元から通勤・通学し地元に残ってもらうため、定期代助成制度の創設は定住促進対策、人口流出対策の一つとして考えている。補助制度の創設について検討していきたい。

1月臨時会の概要

令和8年第1回臨時会は、1月30日に開催されました。国の物価高騰対策の補正予算3件、及び衆議院議員選挙の補正予算1件について審議しました。

1月臨時会議案一覧及び審議結果

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和7年度神川町一般会計補正予算（第6号） 国の物価高騰対応交付金に関し歳入歳出各1億3千401万5千円を増額し、補正後の歳入歳出総額を75億3千84万4千円とする。	○
	専決処分につき承認を求めることについて（令和7年度神川町一般会計補正予算（第4号）） 国の物価高対応子育て応援手当支給事業に関し歳入歳出各4千754万円を増額し、補正後の歳入歳出総額を73億8千578万9千円とする専決処分に係る報告。	○
	専決処分につき承認を求めることについて（令和7年度神川町水道事業会計補正予算（第3号）） 国の物価高騰対応交付金に関し収入支出各35万6千円を増額し、補正後の収入合計を3億91万8千円、支出合計を3億47万1千円とする専決処分に係る報告。	○
	専決処分につき承認を求めることについて（令和7年度神川町一般会計補正予算（第5号）） 第51回衆議院議員総選挙の執行費用として、歳入歳出各1千104万円を増額し、補正後の歳入歳出総額を73億9千682万9千円とする専決処分に係る報告。	○

## 12月定例会議案一覧及び審議結果

議案名等と主な内容		審議結果
町 長 提 出 議 案	神川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 児童福祉法の規定に基づき、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める。	○
	神川町職員の給与に関する条例及び神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、所要の改正を行う。	○
	神川町町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告等を踏まえ、一般職同様に町長等の期末手当支給率を改正する。	○
	神川町火入れに関する条例の一部を改正する条例 消防庁通知により町長による林野火災注意報等の発令が認められたことに伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例 児童福祉法等の一部改正に伴う関係内閣府令の施行に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 地方公共団体情報システムの標準化に伴い、所要の改正を行う。	○
	令和7年度神川町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出各6530万6千円を増額し、補正後の歳入歳出総額を、73億3824万9千円とする。	○
	令和7年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各27万4千円を増額し、補正後の歳入歳出総額を15億568万6千円とする。	○
	令和7年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各1540万8千円を増額し、補正後の歳入歳出総額を1億9982万1千円とする。	○
	令和7年度神川町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各384万5千円を増額し、補正後の歳入歳出総額を11億5442万5千円とする。	○
	令和7年度神川町観光事業特別会計補正予算（第2号） 城峯公園の指定管理料916万7千円を債務負担行為として設定した。	○
	令和7年度神川町水道事業会計補正予算（第2号） 水道事業検診業務委託等に係る債務負担行為を設定した。	○
	令和7年度神川町下水道事業会計補正予算（第2号） 渡瀬浄化センター汚泥処分業務委託等に係る債務負担行為を設定した。	○
	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 西村享氏の任期満了（令和8年3月17日）に伴い、町長から再任案が提出され、満場一致で同意した。	○
	損害賠償の額を定めることについて 地方公共団体情報システム標準化移行にあたり、現行契約を途中解約するため、地方自治法の規定に基づき、損害賠償の額を定める。	○
	損害賠償の額を定めることについて 地方公共団体情報システム標準化移行にあたり、現行契約を途中解約するため、地方自治法の規定に基づき、損害賠償の額を定める。	○
	議員提出議案	
神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告等を考慮し、町長等と同様に、議員の期末手当支給率を改正する。	○	
美里町の埼玉県議会議員選挙区を北第3区から北第2区に戻すことに関する意見書 児玉郡及び本庄市が同一の選挙区となるよう、見直しを要望する。	○	

※【審議結果】○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

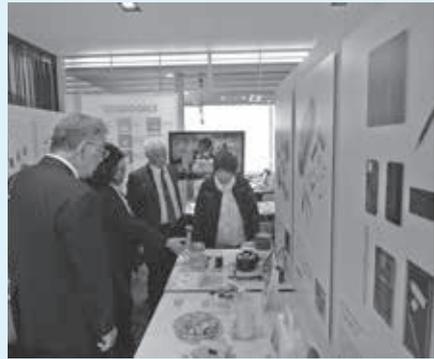
## 活動報告

### 鯖江市SDGsセンター

令和7年10月17日(木)鯖江市のSDGsセンターを視察しました。鯖江市は眼鏡、繊維、漆器など、モノづくりを中心に発展してきた町。それを支えてきたのが女性の活躍だとのことでした。

センターの入り口には17の目標が掲げられていましたが、その中心にあったのが、5番目の「ジェンダー平等の実現」、各産業において女性が活躍する風土が生まれてきているそうです。

眼鏡の町鯖江らしく、SDGsの17目標のカラーをイメージした眼鏡も作成。様々な取組みが評価され、この眼鏡をかけて市長は国連に参加されたそうです。今後も、この取組みを通して、行政・企業・団体・市民が一体となり1人ひとりが自分事として行動する、持続可能な“めがねのまちさばえ”を目指すとのことでした。



#### ギカイの視点！

#### 視察後の展望

国連では、2020年からSDGsの目標達成年である2030年までの10年間で「行動の10年」と位置付けて、取組みを加速させていくことを呼びかけています。神川町議会としてもこういった視点を大切に、今後、町として何が出来るのか、足元を見つめ直し一歩先の地域振興にいかしていきます。

### 県議長会議員研修

令和7年10月8日(水)吉見町「フレサ吉見」での研修会では、町村自治体の防災と議会の役割と題して、跡見学園女子大学教授の鍵屋一氏を招いて講演が行われ、災害時においては行政がひっ迫した状況になることから、日常からの共生社会の実現が重要となること、また、緊急時の議会の対応などの説明があり、平時からの準備の必要性について再認識しました。



# 活動報告

## 鯖江市のJK課

### 鯖江市のJK課とは？

仮想的に行政組織の課名を模した、女子高中生によるまちづくりグループ。発足は、2014年。女子高中生は「行政から最も遠い存在」と思われながらも、独自の「ゆるさ」を持ち味にまちづくり活動を展開。市民主役やジェンダー平等を掲げる鯖江市の象徴的存在になっている。メンバーは市内在住又は通学者で、延べ100名を超えている。

### なぜ女子高中生？

鯖江市では、男女共同参画社会の形成を目的に、平成15年に計画を策定し、各施策を推進してきた。特に女性委員の登用や若年層の参画は一定の成果を上げてきた。一方で、若年層の参加が依然として少ないなどの課題も残るなか、女子高中生をはじめ、多様な世代の主体的な参画を促すことに挑戦してみた。計画は成功をおさめ、これまで様々な地域での活動を実施してきた。

2021年度は、交通安全教室用の信号機づくりや、SUP体験、星空観測や投票啓発動画作成、2022年度にかけて海の環境を考える「海と日本プロジェクト」にも取り組むなど、地域づくりに積極的にかかわっている。

このように、若年層に役割と居場所を与えることで、地域の課題を自分事ととらえる主権者意識が生まれ、若年層が動くことで大人が変わり、地域が変わっていったとのことでした。



出典：鯖江市ホームページより



### ギカイの視点！

#### 視察後の展望

→  
神川町には高校はないが、中学生とともに活動を試み、どのような形で地域の活性化ができるか模索していきたい。そして、神川町においても、働き盛りの人や、若者のまちづくりへの参加が必要なため、今後の活動にいかしていきたい。

# 活動報告

## 青柳小学校出前講座

### 青柳小学校の6年生と神川町の未来について語り合う会 神川町議会文教厚生常任委員会

令和7年11月26日(水)、文教厚生常任委員会として青柳小学校を訪問し、「青柳小学校6年生と神川町の未来について語り合う会」に参加しました。本取組は、6年生が総合的な学習の時間において、神川町の未来を「自分事」として捉え、「ないものねだり」ではなく、「あるものさがし」という視点から、町の課題や可能性について考える学習の一環として行われたものです。



#### ①議員視点からの発表

神川町の良さや、議員を志した理由、今後のまちづくりについてお話ししました。

#### ②児童からの事前質問

議会の役割や神川町の将来に関する内容が寄せられ、町政について理解を深める意見交換となりました。

#### ◆ 議会への質問 ◆



議会で緊張しないですか？

します！



議題はどのように決めているのですか？

議員の一般質問は町民の皆さんからの声や、先進地の取り組みで町でも進めてもらいたいことを取り上げてます。



#### ◆ 議会への質問 ◆



神川町は自然が多いですが、それをいかしていることはありますか？

庁舎や神川中学校の体育館に町有林を使用したり、観光資源を生かした町づくりをしています。



・神川町の人口を増やす取り組みは動画の他に何かやっていますか？  
・神川町の人口を増やすためにどのような取り組みをしていますか？

子育て支援をがんばったり、イベントの充実（マルシェ等）、移住支援、安心して暮らせる防災対策など。



#### 意見交換を終えて

子どもたちの率直な声に触れ、改めて議員としての責任を感じる機会となり、また、子どもたち一人ひとりが真剣に町の未来を考える姿が印象的で、今回の学びが、これからの「神川プラン」につながっていくことを楽しみにしています。

※「神川町プラン」とは、1人1人が町づくりに関する思いをまとめたもの。



新しい議員を紹介します



林部 葉月 議員

昭和51年8月17日  
職業 調理師  
所属政党 無所属  
当選回数 1回  
住所 神川町渡瀬

心に寄り添い、皆さまと共により良い神川町の未来を創ります。



坂田 弘 議員

昭和33年2月8日  
職業 農業  
所属政党 無所属  
当選回数 1回  
住所 神川町関口

「暮らしやすい神川町へ」、将来の課題に全力で取り組みます。

川場村義務教育学校

【義務教育学校(小中一貫校)の設立】

川場村では、切れ目ない9年間の教育を推進し、指導の一貫性や学びの連続性、異学年交流の常態化などを重視しながら「川場村ふるさと人材」の育成を目指し義務教育学校の設立に至った。

そのなかで、発達段階の特性を重視しながら、[小学校6年間・中学校3年間]を[前期4年(前期形成)・中期3年(充実)・後期2年(発展)]の三つのステージに区分し、子どもたちが自身をもって存分に力が発揮できるよう「望ましい自己肯定感を身に付けたこどもの育成」を目指していました。



ギカイの視点！ 視察後の展望

現在、神川町では令和5年3月に定めた「神川町立小学校適正規模・適正配置に係る基本方針」に基づき、今後約7年後には小学校4校を統合し1校とする内容に加え、既存の中学校の場所に新たな小学校を設ける方針が示されています。そのようななかで、川場村をはじめとした、学校統合の在り方をこれからも研究し、地域にとってどんな形がいいのか？どんな教育の在り方を求めればいいのか？など、議会としても統合がより良い形で実現できるよう執行部と協議を重ねていかなければならないと感じています。

## 議会活動報告

### 総務経済常任委員会協議会



令和7年12月5日(金)総務経済常任委員会協議会を開催し、「神泉地区の観光振興」について、神泉総合支所の地域振興課から説明を受け、現地視察をあわせて行いました。

夏季のキャンプ場の利用、晩秋の冬桜の入込客の状況、それに伴うレストハウス利用や地元への経済効果などの意見交換を行い、地域振興に不可欠な観光の重要性を再確認しました。

### 文教厚生常任委員会協議会

令和7年12月9日(火)、文教厚生常任委員会を開催し、「神川町認定こども園」の改修工事の状況や運営方針について町民福祉課と学務課また、神川幼稚園長から説明がありました。

改修工事は現在、計画どおり進んでいるとの説明を受けるとともに、改修中の現地を実際に視察しました。完成後は園児たちが安心して過ごせる、ワクワクするような園舎になることが期待され、完成が大変楽しみです。一方、今後の運営にあたっては保育士不足が大きな課題として挙げられました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

6月定例会は、6月4日(木)から開催予定です。



#### 編集後記

補欠選挙にて2名の新議員を迎え、より活発な議会を目指すとともに、さらに読みやすく、親しまれる議会だよりを作成してまいりますので、引き続きご愛読いただきますよう、お願いいたします。

(福島康弘)

#### 議会だより編集委員会

- ・委員長 新井 太一
- ・副委員長 剣持真菜美
- ・編集委員 野口 弘吉
- 福島 康弘
- 赤羽奈保子

